

NTT 札幌病院に通院中の患者様へ

- 同意の取得について
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指標（2021 年 3 月 23 日）第 8 の 1（2）イの規定により、研究者などは、被験者からインフォームドコンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。その為今回の研究では患者からの同意取得はせず、その代わりに対象となる患者へ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者でご自身の情報は利用しないでほしいなどのご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
- 研究課題名：
ハムストリング自家腱を用いた膝前十字靱帯再建術後の膝関節伸展筋力の回復に影響を及ぼす因子の検討
ー術後 1 ヶ月の膝関節伸展筋力に着目した後ろ向き観察研究ー
- 研究機関：NTT 東日本札幌病院リハビリテーションセンター
研究責任者：奈良銀二（理学療法士）
研究分担者：井上雅之、木田貴英、谷口翔平
- 研究の意義と目的
前十字靱帯再建後の膝関節伸展筋力の低下は、前十字靱帯の再損傷や変形性膝関節症の進行に寄与する大きな問題となっています。前十字靱帯再建術後の膝関節伸展筋力低下に寄与する因子を明らかにすることは、適切なリハビリテーションプログラム構築の発展に役立つと考えています。よって本研究の目的は、前十字靱帯再建術後 1 ヶ月時点の膝関節伸展筋力が術後 6 ヶ月、12 ヶ月以降の金属抜去時の膝関節伸展筋力と関連するかカルテ情報を基に後ろ向きに検討することとしました。
- 観察研究の対象：
本研究の対象となる患者は、2015 年～2025 年の間に、本院で初回の膝前十字靱帯再建をされた患者です。ご利用させていただくカルテ情報は下記です。
①基本情報：年齢、性別、身長、体重、スポーツ活動状況
②医学的情報：診断名、既往歴、手術に関連するデータ
③理学療法評価：等尺性および等速性膝関節伸展筋力、日本語版 Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score、膝前方不安定性
- 研究実施期間：倫理委員会承認日～西暦 2027 年 3 月 31 日
- 被検者の保護：
本研究に関するすべての責任者は、ヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA）フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）および人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 3 月 23 日）に従って本研究を実施します。

- 個人情報の保護：
患者の情報は、個人を特定できる情報とは切り離したうえで使用します。また、研究成果を学会や学術論文で発表しますが、患者個人を特定できる個人情報は含みません。
- 利益相反について
本件研究の責任者及び分担者には開示すべき利益相反はございません。
- お問い合わせ先：
NTT 東日本札幌病院 リハビリテーションセンター
電話：011-623-8200
研究担当者：奈良 銀二（理学療法士）